

筑波大学大学院人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
リハビリテーション科学 学位プログラム 博士前期課程

令和6年度入学試験

論述試験問題

[注意]

1. 問題は、問題1と問題2の2問です。
問題1は、(1)と(2)の2つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
問題2は、(1)と(2)の2つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
2. 答案用紙は600字詰め4枚、下書き用紙は4枚あります。
答案は、設問ごとに答案用紙1枚にまとめて記載してください。
答案用紙の裏面は使用しないでください。
下書き用紙は、自由にお使いください。
3. すべての答案用紙に必ず受験番号を記入してください。
4. 各答案用紙の欄外の左上に、問題番号[問題1(1)、問題1(2)、問題2(1)、問題2(2)]を明記してください。
5. 試験終了後、問題用紙と下書き用紙も回収しますので、持ち帰らないでください。

問題 1

下記の表 1 は、第 12 回大都市交通センサス「鉄道定期券・普通券等利用者調査」をもとに集計を行った、A 圏域の年齢別端末交通手段構成比である。端末交通手段とは、出発地・目的地から駅までの交通手段を指す。また、下記の表 2 は、国立社会保障・人口問題研究所が 2015(平成 27)年の国勢調査をもとに行った将来推計で、世帯主 65 歳以上の世帯の家族類型別世帯数である。

- (1) 表 1、表 2 から読み取れることを 600 字以内で述べなさい。
- (2) 読み取った内容に基づき、A 圏域において人々の移動に関わり今後対応が求められることを 400 字程度で述べなさい。

表 1 A 圏域の年齢別端末交通手段構成比

(単位：%)

		徒歩	自転車	車 (送迎)	車 (その他)	バス・ 路面電車	タクシー	その他
都心部	65 歳未満	46.2	35.5	0.9	2.6	1.4	13.1	0.3
	65 歳以上	61.2	15.1	1.3	2.1	0.4	16.9	3.0
郊外部	65 歳未満	30.6	38.5	2.9	12.6	9.4	6.0	0.0
	65 歳以上	34.9	31.4	2.5	11.5	11.6	8.1	0.0

表 2 世帯主 65 歳以上の世帯の家族類型別世帯数の推計

(単位：1,000 世帯)

年次	総数	単独	核家族世帯				その他
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子	
2020 年	20,645	7,025	11,551	6,740	2,990	1,821	2,069
2030 年	21,257	7,959	11,483	6,693	2,842	1,948	1,816
2040 年	22,423	8,963	11,752	6,870	2,906	1,976	1,708

問題 2

次の文章（4頁～7頁）は、『よく考える人よく動く人』（サミュエル・スマイルズ著、竹内均訳、三笠書房、2001年）の一部を抜粋、改変して掲載（下線は出題のために強調）したものである。

この文章を読んで、以下の設問（1）と（2）に答えなさい。

- （1） 著者は、「学問に王道なし」という格言を引用し、「ねばり強く努力していく以外に、知恵と理解力を獲得する道はない」としている。この考え方に対するあなたの意見を400字以内で述べなさい。

- （2） 著者は、本文で「現実生活から得た経験は真の知恵となる」としている。この考え方を踏まえ、あなたのリハビリテーション実践における「実践的な知恵」の具体例を挙げ、その知恵をどう科学的に実証し得るかについて400字以上600字以内で記述しなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。